

2020年度 第3四半期決算 カンファレンスコール

2021年2月8日（月）

取締役常務執行役員CFO

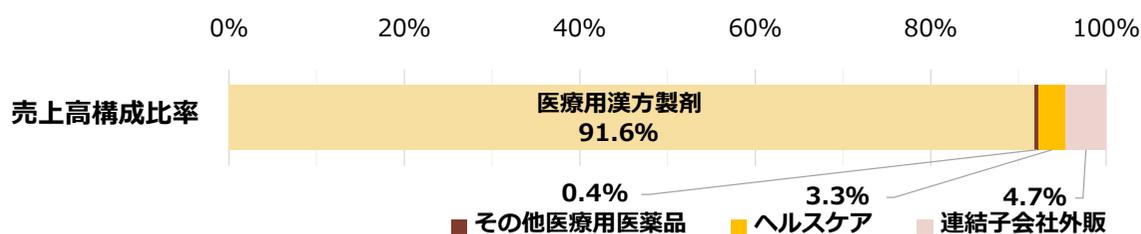
半田 宗樹

2020年度 第3四半期決算の概要



(百万円)

	2020年度 3Q実績	2019年度 3Q実績	前年同期比	
			金額	伸長率
売上高	99,482	95,185	+4,296	+4.5%
営業利益 (営業利益率)	17,560 (17.7%)	16,151 (17.0%)	+1,409	+8.7%
経常利益	18,136	16,675	+1,461	+8.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,356	11,690	+1,665	+14.2%



2

■ 2020年度 第3四半期決算の概要

2ページは、2020年度 第3四半期決算の概要です。

2月5日の決算発表でお知らせした通り、業績予想の修正をいたしました。その内容については、後ほどご説明させていただきます。

第3四半期決算はご覧の通り、COVID-19の影響を受けつつも、増収増益の決算となりました。

売上高は、994億円で、前年同期比 4.5%伸長しました。
 営業利益は、175億円で、前年同期比 8.7%増、
 経常利益は、181億円で、前年同期比 8.8%増、
 四半期純利益は、133億円で、前年同期比 14.2%伸長しました。

営業利益率は、前年同期比で0.7pt増加しました。

売上高構成比率のグラフで、連結子会社の外販比率4.7%のうち、中国連結子会社の外販比率は3.9%でありました。

増収増益の決算（前年同期比）

売上高	99,482 百万円	前年同期比	+4.5%
------------	-------------------	--------------	--------------

- 中国子会社の新規連結により、前年同期比 4.5%伸長
- 医療用漢方製剤129処方分の売上高は、前年同期比 0.5%伸長
- 一般用漢方製剤などのヘルスケア売上高は、前年同期比 17.4%伸長

営業利益	17,560 百万円	前年同期比	+8.7%
-------------	-------------------	--------------	--------------

営業利益率	17.7 %	前年同期比	+0.7pt
--------------	---------------	--------------	---------------

- 売上原価率は、薬価改定による上昇分を生薬関連コストで吸収したものの、中国外部販売の影響により、前年同期比+0.4ptで41.5%。
- 販管費率は、COVID-19の影響による活動の変化に伴う経費の減少等で 前年同期比△1.1ptで40.8%。

経常利益	18,136 百万円	前年同期比	+8.8%
-------------	-------------------	--------------	--------------

親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,356 百万円	前年同期比	+14.2%
-----------------------------	-------------------	--------------	---------------

3

■ 決算ポイント

3ページは、決算のポイントです。

売上高は、前年同期比、42億円増の4.5%伸長でしたが、2020年3月にグループ連結となった平安津村薬業（旧・盛実百草）の外売上35億円が寄与しております。

医療用漢方製剤129処方の売上高は、2019年10月、2020年4月と2回の薬価改定の影響と、医療機関への受診抑制や活動制限の影響を受けながらも、前年同期比、0.5%伸長しました。

一般用漢方製剤などのヘルスケアの売上高は、店舗販売もネット販売も好調で、前年同期比、17.4%伸長しました。

売上原価率は、前年同期比、0.4pt増の41.5%となりました。薬価改定の影響を生薬関連コストの低減で吸収したものの、中国外部販売の影響により原価率が上昇しました。

販管費率は、前年同期比、1.1pt減の40.8%となりました。COVID-19下での経費削減に加え、新たな環境整備などに資源を再配分いたしました。活動の変化に伴う経費の減少が大きく発生しました。

育薬処方・Growing処方 売上高



(百万円)

	売上 順位	製品No./処方名	2019年度 3Q	2020年度 3Q	前年同期比	
育薬 処方	1	100 大建中湯	8,023	8,005	△ 18	△0.2%
	2	54 抑肝散	6,028	6,068	40	0.7%
	4	43 六君子湯	5,726	5,806	80	1.4%
	8	107 牛車腎気丸	2,813	2,786	△27	△1.0%
	24	14 半夏瀉心湯	1,094	1,093	△ 1	△0.1%
育薬処方合計			23,685	23,759	73	0.3%
Growing 処方	3	41 補中益気湯	5,589	5,986	396	7.1%
	5	68 芍薬甘草湯	4,112	3,956	△156	△3.8%
	9	29 麦門冬湯	3,682	2,714	△967	△26.3%
	7	24 加味逍遙散	3,621	3,765	143	4.0%
	6	17 五苓散	3,522	3,850	328	9.3%
Growing処方合計			20,528	20,273	△255	△1.2%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			46,507	47,108	600	1.3%
医療用漢方製剤129処方合計			90,722	91,141	419	0.5%

4

■ 医療用漢方製剤（育薬処方・Growing処方）売上高

4ページは、育薬処方・Growing処方の売上高です。

薬価改定の影響を受けながらも、医療用漢方製剤129処方合計の売上高は、911億円で前年同期比0.5%伸長しました。

育薬処方の売上高は、237億円で前年同期比0.3%伸長しました。

Growing処方の売上高は、202億円で前年同期比1.2%減少しました。風邪やインフルエンザの患者数の減少により、風邪関連処方のひとつである麦門冬湯が前年同期比で大きく減少したことが要因です。

医療用漢方製剤129処方の数量ベースでは、前年同期比1.6%伸長しました。

■ 医療用医薬品市場との比較

(薬価ベース)

医療用医薬品市場 Δ **3.2%**

市場との差 **4.8pt**

ツムラ

+1.6%
(前年同期比)

Copyright © 2020 IQVIA.
「JPM 2019年4月~2020年12月」
をもとに当社が独自に集計 無断転載禁止

■ 販路別売上状況

(実売・金額ベース)

一般診療所 **+2.3%**
(売上構成比：77%) (前年同期比)

風邪関連処方落ち込むも、
皮膚疾患・精神疾患などの処方プラス

病院 Δ **2.6%**
(売上構成比：23%) (前年同期比)

活動制限の影響が大きい
外来患者数・手術数の減少など

5

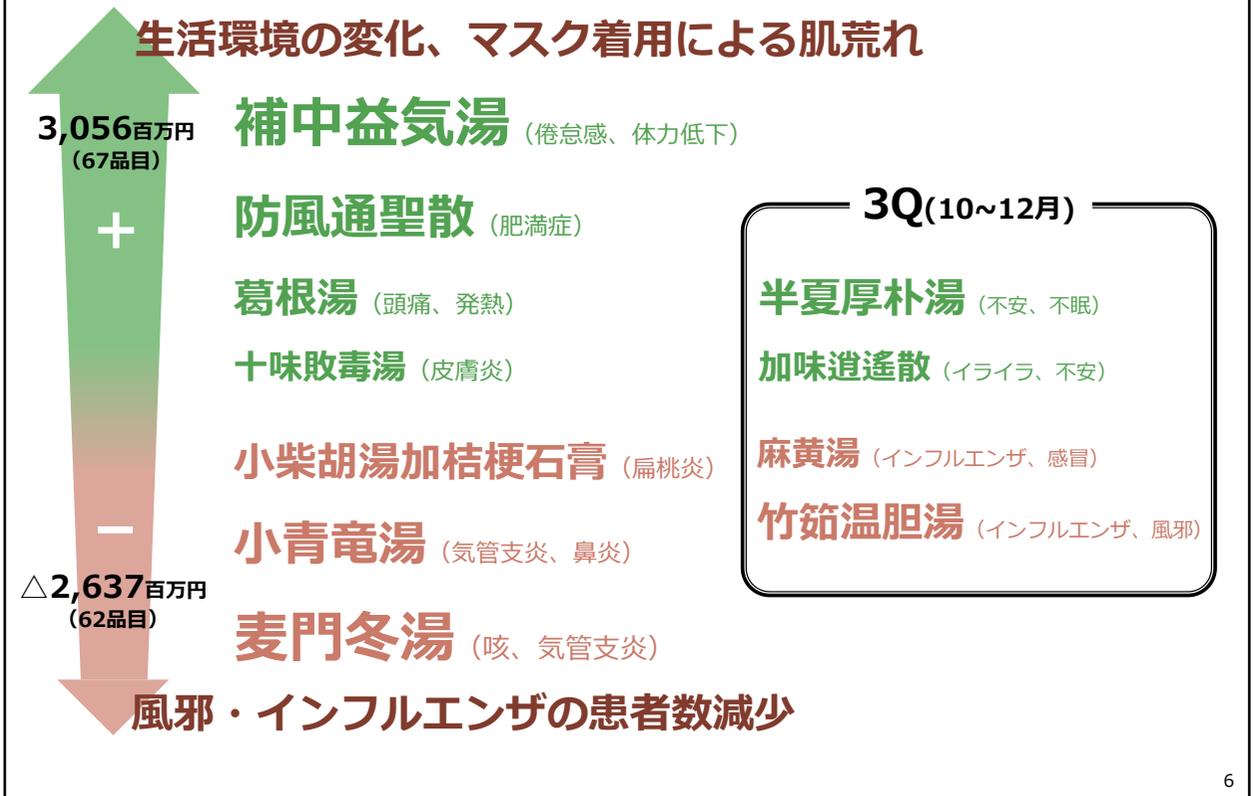
■ COVID-19による影響

5ページは、COVID-19による影響です。

薬価・実売ベースでの前年同期比の伸長率は、医療用医薬品市場がマイナス3.2%に対して、当社がプラス1.6%と市場との差が4.8ptでありました。

販路別売上状況を見ますと、一般診療所がプラス2.3%であり、風邪関連処方が落ち込むも、皮膚疾患・精神疾患などの処方プラスとなりました。

病院はマイナス2.6%と、依然として活動制限を受けていることに加え、外来患者数・手術数の減少の影響が続いております。



■ COVID-19によるプラス／マイナス影響

6ページは、COVID-19によるプラスとマイナスの影響です。

漢方薬の症状緩和に対する期待は高まっている一方で、マイナスの影響もございます。

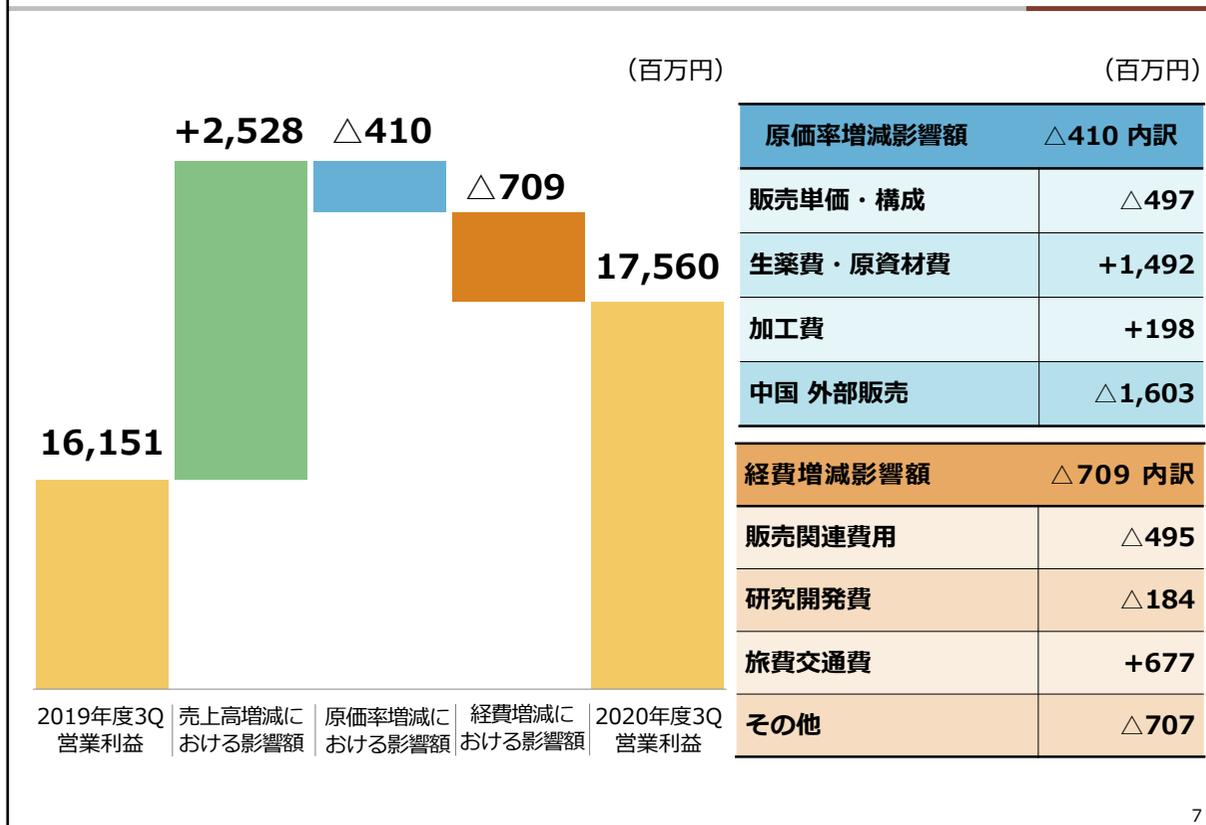
第3四半期における医療用漢方製剤129処方の出荷金額ベースでの伸長処方数をご覧の通りとなりました。そのうち、COVID-19の影響が特に大きいと分析する処方を、前年同期比・増減額の順に並べております。

プラス影響として、生活環境の変化に伴う肥満症やマスク着用による肌荒れなどにより、ご覧のような処方が大きく伸長しました。

マイナス影響として、風邪・インフルエンザの患者数の減少などにより、麦門冬湯をはじめとする風邪関連処方が大きく減少しました。

太枠部分でお示しております通り、第三四半期・3カ月間では、メンタル不調をはじめとした精神疾患に関する処方が伸長しており、一方で、インフルエンザなどの適応症のある処方が減少しました。

営業利益の増減要因（前年同期比）



■ 営業利益の増減要因（前年同期比）

7ページは、営業利益の増減要因です。

営業利益は、前年同期比で14億円増の175億円となりました。

要因として、売上高増加による影響がプラス25億円で、このうち中国外部販売分はプラス21億円でした。

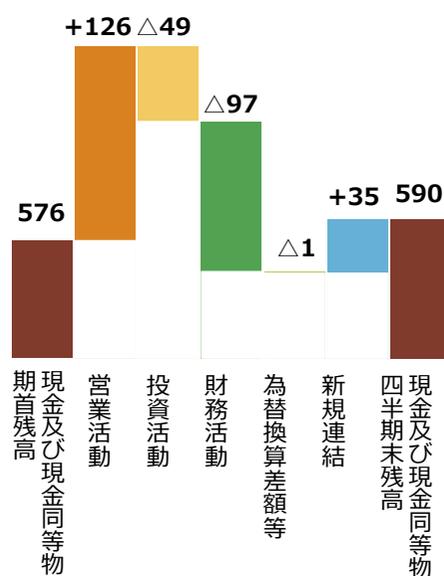
原価率増減による影響額は、マイナス4億円となりました。薬価改定による販売単価・構成による影響の増加分を、生薬費・原資材費や加工費の低減で吸収したものの、今期より新規連結した中国子会社における外部販売が影響しました。

経費増減による影響額は、マイナス7億円となりました。活動制限による旅費交通費が約6億円減少したものの、中国事業を含む売上高の増加に伴う販売関連費用の増加と、COVID-19関連を含む研究開発費などの増加が影響しました。

(百万円)

	2019年度 (2020.3)	2020年度 3Q	増減額
資産合計	311,042	312,895	1,852
流動資産	194,288	199,310	5,021
固定資産	116,753	113,584	△3,168
負債合計	97,993	85,356	△12,636
流動負債	48,476	44,995	△3,481
固定負債	49,516	40,361	△9,155
純資産合計	213,048	227,538	14,489
自己資本比率	66.0%	68.1	2.1pt

(億円)



	2019年度 (2020.3)	2020年度 3Q	増減額
たな卸資産計	73,310	75,397	2,087
商品及び製品	10,338	11,973	1,634
仕掛品	12,418	13,419	1,000
原材料及び貯蔵品	50,553	50,005	△548

8

■財務状態およびキャッシュ・フロー

8ページは、財務状態およびキャッシュ・フローです。

財務状態およびキャッシュ・フローは前期末・2020年3月末との比較でご覧の通りです。ポイントのみご説明いたします。

流動資産のうち棚卸資産は、20億円増加しました。内訳として、製品16億円増加、仕掛品10億円増加、原材料及び貯蔵品は5億円減少しました。製品・仕掛品の増加は、中国外販向け製品在庫の増加及び2020年6月に稼働した茨城工場第3SD棟の影響です。

固定資産は、31億円減少しました。内訳として、当期より津村盛実製薬有限公司を新規連結したことなどに伴い、有形固定資産が63億円増加しました。一方、同子会社出資金・貸付金の連結消去などに伴う投資その他の資産が92億円減少、また、平安津村薬業（旧 盛実百草）の持分取得によるのれん償却などに伴う無形固定資産の減少が5億円となっております。

負債合計は、126億円の減少となりました。主な内訳は中国連結子会社の短期借入金返済によるものです。

自己資本比率は68.1%です。

キャッシュ・フローにつきましては、ご覧の通りです。



- 戦略課題**
1. 漢方市場の持続的拡大とプレゼンスの確立
 2. 中国における成長投資と事業基盤の構築
 3. 新技術を活用した生産性の向上
- AI、ロボット化、RPA -
 4. 理念経営による企業文化の醸成と多様な人財の開発
 5. 漢方バリューチェーンを通じたSDGsの推進

■ 長期経営ビジョン実現へのロードマップ

9ページは、長期経営ビジョン実現へのロードマップです。

第3期中期経営計画は、成長投資のステージと位置づけ、国内漢方市場の持続的拡大と中国事業の基盤構築を行い、連結売上高は1,350億円以上を目指しております。今年度の当初計画は1,320億円でしたが、この度の修正で1,305億円を予想しております。

COVID-19の影響で、一部活動の遅れはありますが、達成に向けて取り組んでまいります。

- 高齢者関連領域、がん領域（支持療法）、女性関連領域を重点3領域と位置付け、集中的に活動する
- 育薬処方、Growing処方、重点3領域の関連処方による営業アプローチを展開する

高齢者関連領域		がん領域 (支持療法)	女性関連領域
精神・神経疾患	消化器疾患	副作用の軽減など	婦人科疾患
育 抑肝散 + 関連処方	育 六君子湯 育 大建中湯 G 補中益気湯 + 関連処方	育 六君子湯 育 半夏瀉心湯 育 牛車腎気丸 + 関連処方	G 加味逍遙散 + 関連処方
呼吸器疾患			その他の疾患・症状など
G 麦門冬湯 + 関連処方			育 大建中湯 G 五苓散 + 関連処方
循環器疾患における周辺症状			
G 五苓散 + 関連処方			

● 育薬処方 ● Growing処方

■ 国内市場の重点3領域

10ページは、国内市場の重点3領域です。

COVID-19の影響を受けながらも、国内市場の重点3領域については、これまでの各種施策を継続し、営業アプローチを展開しております。

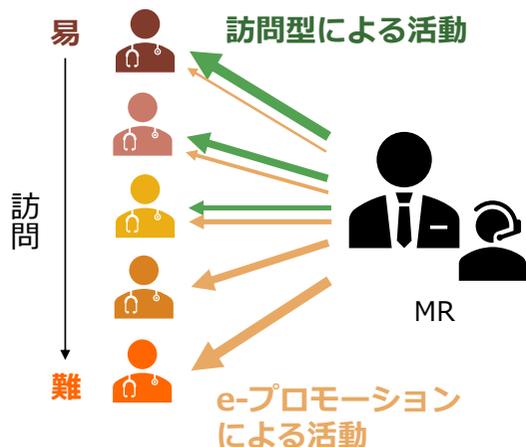
高齢者関連領域では、認知症関連やフレイル関連を重点施策とし、抑肝散や人参養栄湯などの情報提供に注力しております。

また、2020年度からは「循環器疾患における周辺症状」を加え、漢方市場の持続的拡大を図っております。

循環器疾患は、西洋薬での治療が対象となることが多い中、随伴する症状や西洋医学では病名のつかない症状に対して、漢方薬への期待が高まっております。

本年1月23日に主催した、循環器領域のWeb講演会である「CARDIOLOGY（カーディオロジー）KAMPO DAY」においては、8,000名を超える医師の視聴がありました。循環器の医師の関心の高さを実感しております。

訪問型 + e-プロモーション



訪問型	MRによる訪問面談 (院内説明会・情報提供)
	会場実施型の講演会・研究会 (実技 ^{※1} を含む漢方医学、エビデンス)
e-プロモーション	リモートによる情報提供 (説明会・デジタルパンフレット)
	Web講演会・研究会 (漢方医学、エビデンス)
	医療関係者向けホームページ (オンデマンド動画、CMEデジタル ^{※2})

※1実技：漢方診療に用いられる腹診、舌診、脈診など

※2CMEデジタル：医師をはじめとした医療従事者の漢方医学に関する生涯教育 (Continuing Medical Education)

■ ツムラの情報提供の在り方

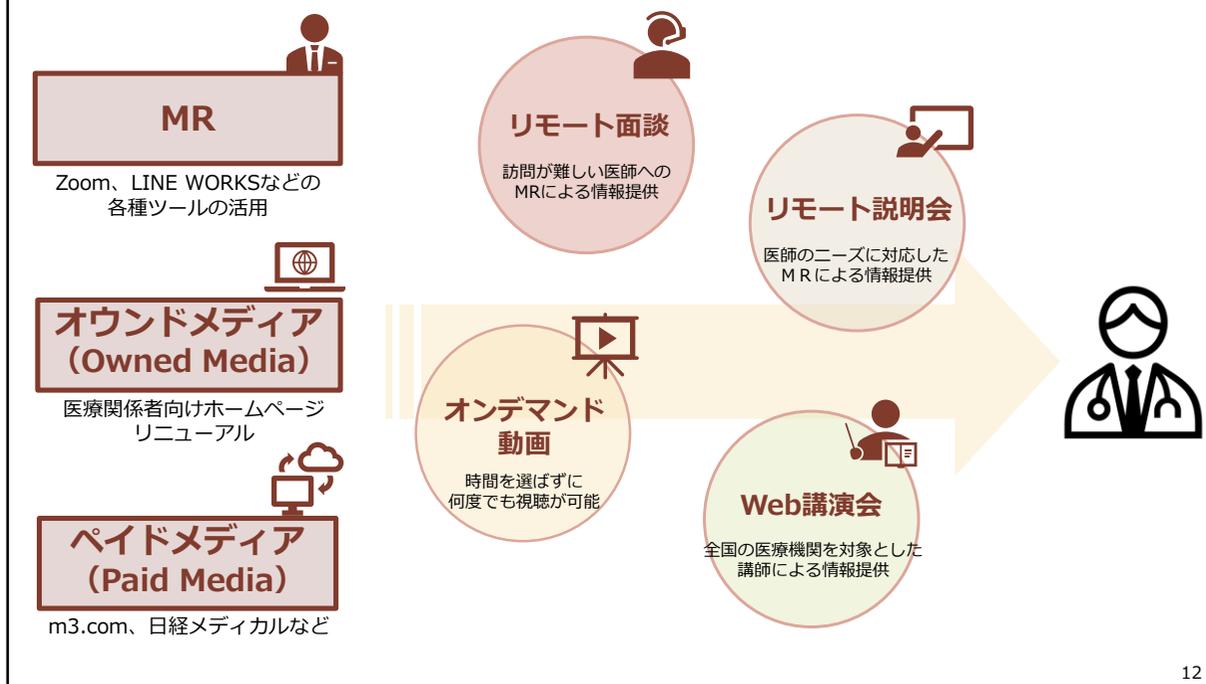
11ページは、情報提供の在り方です。

COVID-19の影響を受け、当社でも将来を見据えた情報提供活動に対する変革が必要であると考えております。

訪問型情報提供活動に加え、e-プロモーションによる情報提供活動の充実を図っております。

e-プロモーションについては、次のページにて詳しくお示しします。

= 新しい情報提供活動のカタチ



■ e-プロモーション

12ページは、e-プロモーションです。

MR、オウンドメディア、ペイドメディアにより、ご覧のようなe-プロモーションを展開しております。

e-プロモーションの効果として例をあげますと、漢方薬はひとつの製品紹介に留まらず、様々な症状に対してアプローチできることから、診療科を問わず同時に説明会を行うことが可能です。その点を活かし、北海道から沖縄まで全国の医療機関を対象にリアルタイムで説明会を開催し、情報提供の機会を広げております。

現在、オウンドメディアにおいて、医療関係者向けホームページのリニューアルを進めております。医師が生涯にわたって漢方医学を学べる環境を整え、動画による漢方が学習できる環境、ライブでWeb講演会が視聴できる環境を整えてまいります。

【ターゲット】 主に10処方未満の処方医師と全く処方していない医師

1～3Q実績 ■実施回数：6回 ■視聴者数：133,727名（延べ数）

3Qテーマ	主な処方名	講演者	開催日 視聴者数
高齢者心不全に漢方の 出番はあるのか？ ～覚えておきたい 7症候11処方～	五苓散、麻子仁丸、 補中益気湯、大建中湯、 牛車腎気丸、人參湯など	土倉 潤一郎 先生 土倉内科循環器CL	10月14日 23,214名
女性の冷え症と気血水	当帰四逆加呉茱萸生姜湯 温経湯	丸山 綾 先生 霞が関ビル診療所	12月14日 25,922名

(前年同期比)

主な処方名		主な処方名	
五苓散	+9.3%	大建中湯	△0.2%
麻子仁丸	+8.7%	温経湯	△0.4%
補中益気湯	+7.1%	牛車腎気丸	△1.0%
当帰四逆加呉茱萸生姜湯	+4.0%	人參湯	△4.0%

13

■ Mega Web講演会

13ページは、Mega Web講演会です。

Mega Web講演会は漢方を処方している数が10処方未満の医師、あるいは漢方を処方していない医師を主なターゲットとして実施しております。

2020年度はこれまでに6回実施し、延べ13万3千人を超える医師に視聴していただきました。毎回2万人前後の視聴があり、12月に開催した講演会では過去最高の2万5千人の視聴者数となりました。

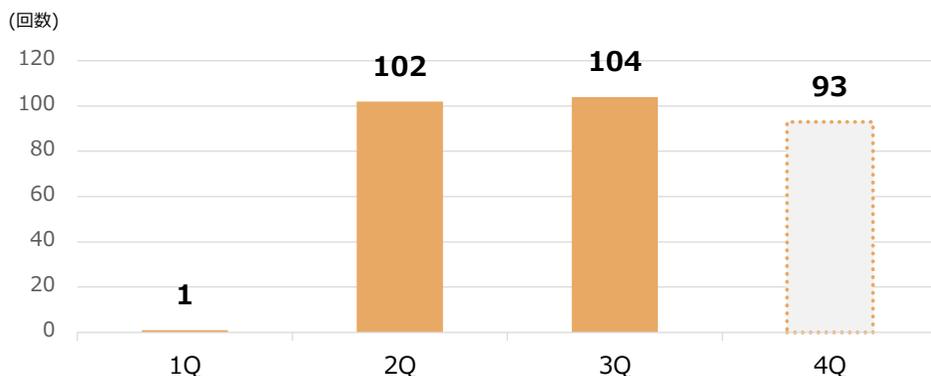
下の表は、第三四半期の講演会で取り上げられた、主な処方の前年同期比・増減率をお示ししております。

Mega Web講演会は、これまで一定の効果を認めていましたが、今後は中規模な形式へシフトし、様々な領域で、かつ、回数を増やして実施することにより、視聴機会をさらに創出していきます。

エリア企画 地域特性・施設特徴を考慮した、きめ細かい情報提供
漢方を学びたい医師向け「漢方医学入門セミナー」

□テーマ例： めまい、頭痛、ストレス、睡眠障害、漢方概論 他

【エリアWeb講演会】 開催済：207回 開催予定：300回



□開催事例： 漢方では実績のない大学病院の医師が講演を実施した結果、
関連病院で新規採用されるなどエリアでの波及効果があった。

14

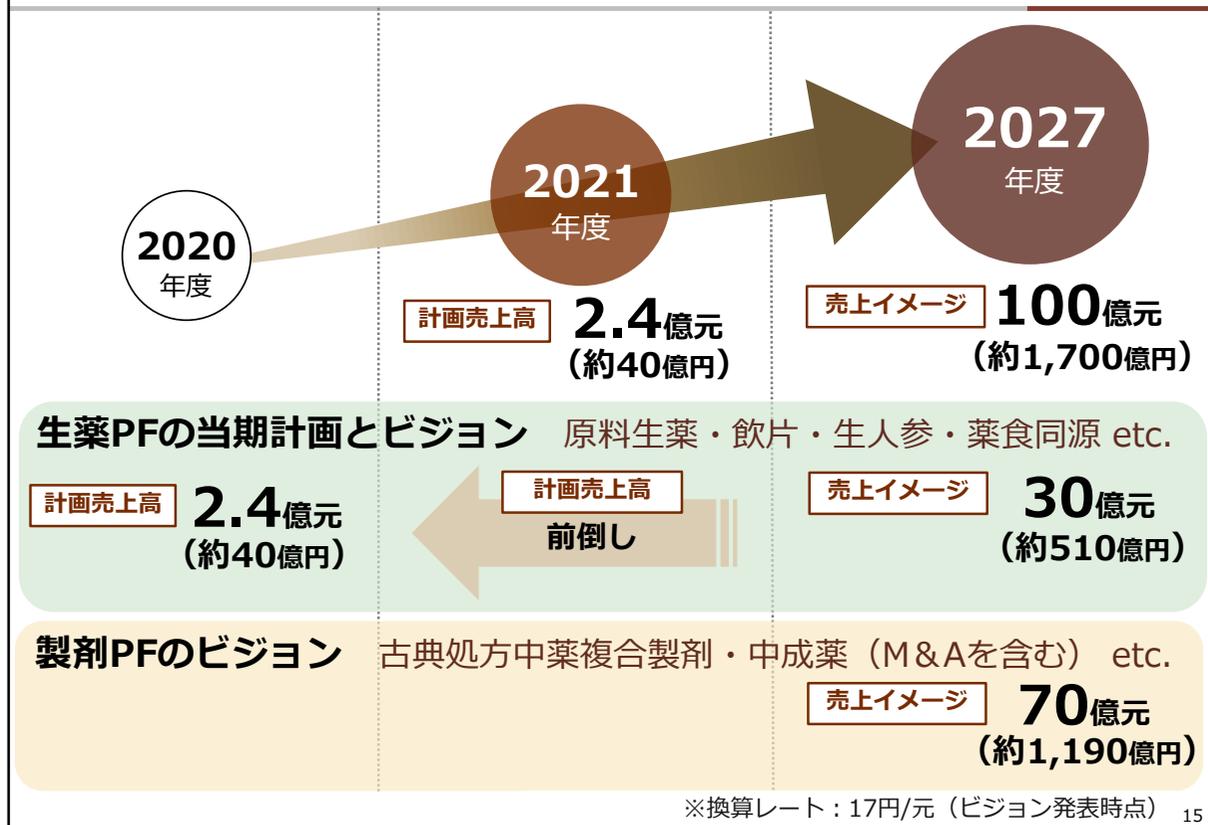
■ エリア企画とエリアWeb講演会

14ページは、エリア企画とエリアWeb講演会です。

エリア企画として、地域特性・施設特徴を考慮した、きめ細かい情報提供を継続して行っております。重点3領域である「高齢者関連領域」「がん領域（支持療法）」「女性関連領域」に加え、多くの領域で漢方のニーズは存在するため、エリア企画で対応しております。

エリア企画のひとつにエリアWeb講演会がございますが、ご覧の通り、第3四半期までに全国で207回開催され、今期は300回の開催を予定しております。

開催例として、これまで漢方の講演をされたことのない大学病院の医師がはじめて講演をされた結果、関連病院において漢方薬が新規採用されるなど、エリアでの波及効果がありました。このように、エリアWeb講演会を通じて常に新しい講師が各地で輩出されることで、漢方が普及していく基盤が広がり、漢方市場の持続的拡大につながります。



■ 中国事業の中期経営計画とビジョン

15ページは、中国事業の中期経営計画とビジョンです。

売上イメージは、2027年度に100億円・約1,700億円としており、内訳は、生薬プラットフォームで30億円・約510億円、製剤プラットフォームで70億円・約1,190億円としています。

これまでは「製造プラットフォーム」としていましたが、製造と販売は一体化して商品価値を生み出すため「製剤プラットフォーム」と変更しました。

生薬プラットフォームにおいては、原料生薬の栽培・調達、選別加工・保管に加え、生薬原料や飲片（刻み生薬）、「薬食同源」製品などの販売機能を担っていきます。

製剤プラットフォームでは、ツムラ向けエキス末製造の機能に加え、今後、中国事業向けの古典処方中薬複合製剤などの製造機能も担っていきます。

なお、2021年度の計画売上高2.4億円、約40億円を、2020年度に前倒しいたしました。この計画に対し、第3四半期の平安津村薬業（旧 盛実百草）の売上高は35億円と順調に推移しております。

2020年度 業績予想の修正



(百万円)

	当初計画	修正計画	当初計画比		前期比	
			金額	増減率	金額	伸長率
売上高	132,000	130,500	△1,500	△1.1%	+7,251	+5.9%
営業利益	17,000	19,300	+2,300	+13.5%	+423	+2.2%
経常利益	17,900	20,200	+2,300	+12.8%	+550	+2.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,000	15,000	+2,000	+15.4%	+1,234	+9.0%

	当初計画	修正計画	前期
営業利益率	12.9%	14.8%	15.3%
配当金(1株あたり)	64円(予想)	64円(予想)	64円
EPS	169.92円	196.06円	179.96円
ROE	6.2%	7.1%	6.8%

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、新型コロナウイルスの更なる感染拡大による社会経済活動への影響など、現時点で予測できないリスクによる影響は考慮しておりません。実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。状況に変化が発生した場合は随時・適切な開示を実施いたします。

16

■ 業績予想の修正

16ページは、2020年度 業績予想の修正です。

売上高につきましては、中国事業は好調を維持しているものの、国内医療用医薬品事業において、COVID-19の影響を受け、当初計画を下回る見通しです。よって、当初計画より15億円マイナスの1,305億円に下方修正させていただきます。

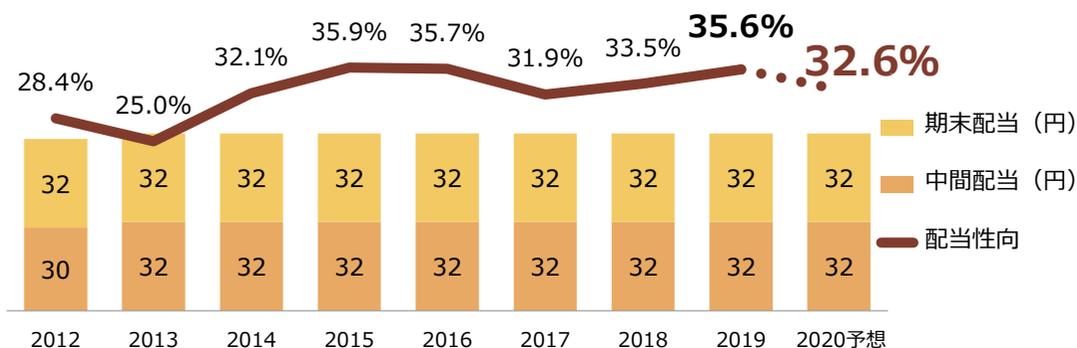
販管費は、COVID-19の影響を主因とした活動の変化により、新たな環境整備に資源を再配分いたしました。総額が期首の想定を下回る見通しです。よって、営業利益は、当初計画より23億円プラスの193億円、経常利益は23億円プラスの202億円、親会社株主に帰属する当期純利益は20億円プラスの150億円に上方修正させていただきます。

これにより、営業利益率は、当初計画よりプラス1.9ptの14.8%としています。配当金につきましては、当初計画から変更ありません。EPSは、196.06円、ROEは7.1%を予想しております。

実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。状況に変化が発生した場合は、随時・適切な開示を実施いたします。

方針

- “漢方”事業の持続的な拡大と中国事業への成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する



(注) 2020年度期末配当金・配当性向(予想)は、第85回定時株主総会による配当議案決議が前提の予想数値を記載

17

■ 株主還元

17ページは、株主還元です。

引き続き、“漢方”事業の持続的な拡大と中国事業への成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図ることを基本方針とさせていただき、中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施してまいります。

配当は、年間64円、配当性向は、先ほどの業績予想ベースで、32.6%を予想しております。

ご清聴誠にありがとうございました。

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ

TEL : 03-6361-7100

I R推進グループ

TEL : 03-6361-7101

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利・為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。



appendix

中国における中薬市場規模



刻み生薬
1,933億元
(約3兆円)



(国内生産金額)
約**35億円**※



中成薬
4,587億元
(約7.2兆円)

(国内生産金額)
約**1,795億円**※



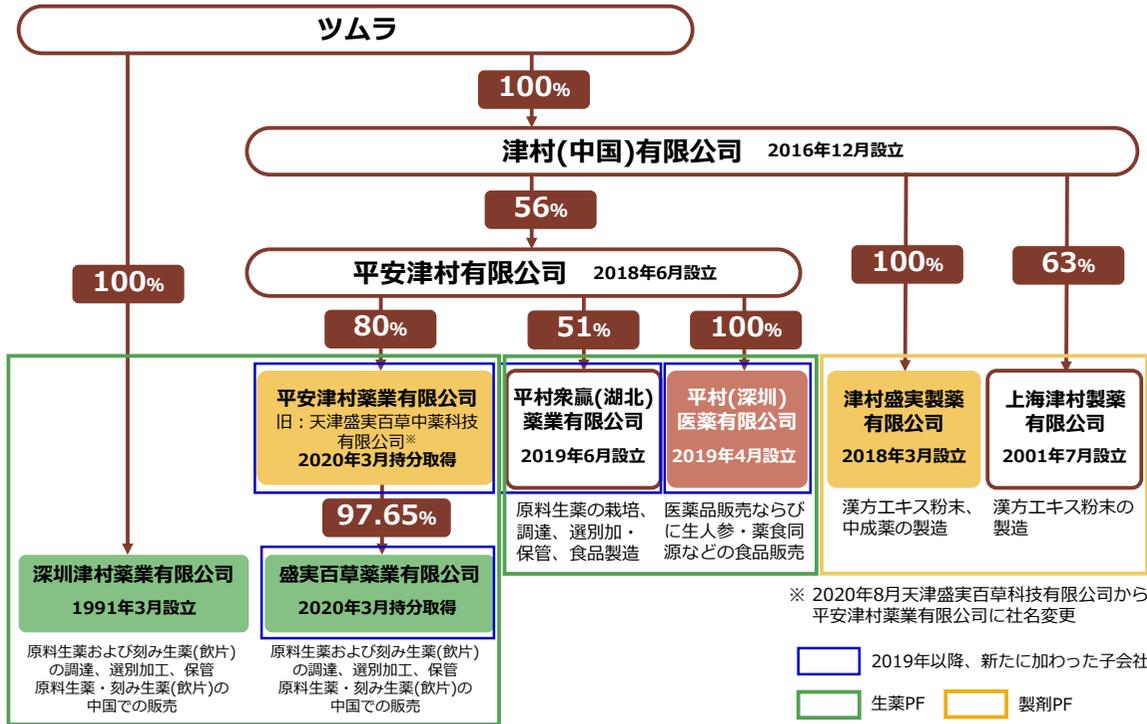
換算レート：15.7円/元（2019年12月末時点）
出所：中国国家统计局、工业和信息化部

※出所：日本漢方生薬製剤協会「漢方製剤等の生産動態」

用語	意味	漢方医学において対応する語 (必ずしも「同義」ではない)
中薬	中医学で使用する薬剤（中成薬、飲片など）	漢方薬、刻み生薬、生薬
飲片	刻み生薬と同義。煎じて服用する	刻み生薬
中成薬 └ (古典処方中薬複合製剤)	中医学の理論に基づいた処方、顆粒や丸剤等の形にした薬剤 (古くからある中国の医学書由来の処方、顆粒や丸剤等の形にした薬剤)	漢方エキス製剤、生薬製剤 (漢方エキス製剤)

中国事業体制と資本関係 出資比率

2020年12月時点



中国事業ビジョンのロードマップ（イメージ）

